

## 4 博物館実習

大学及び短期大学における博物館学講座の単位習得の一環として、博物館学を履修する学生を一時的に受け入れ、博物館現場における知識及び技能を修得させることにより、人材の育成を図ることを目的として実施している。

開設日時とカリキュラム、および受入先は次のとおり。

### 開設日時と内容

8月23日(木)	9:30~9:45	開講あいさつ	[当館館長]
	9:45~10:30	オリエンテーション	
	10:30~11:30	美術館とマネジメント	[当館館長]
	11:30~12:00	美術館と学芸活動	[当館学芸課長]
	13:00~13:30	公共文化施設と指定管理制度	[乃村工藝社PPP事業部長 中村 秀男 氏]
	13:30~15:00	コレクション展会場・館内見学	
	15:00~16:00	ミニ企画展実習(1 概論)	
8月24日(金)	9:30~12:00	作品取扱い実習・調書作成(絵画)	
	13:00~14:00	「絵本ミュージアム展」「子ども美術館」会場見学	
	14:00~16:00	作品取扱い実習・調書作成(工芸)	
8月25日(土)	9:30~10:30	「フレデリック・バック展」会場見学	
	10:30~12:00	ミニ企画展実習(2 企画-討議)	
	13:00~14:00	展覧会を取材する(館内取材・資料調査)	
	14:00~16:00	ミニ企画展実習(3 企画-立案)	
8月27日(月)	9:30~10:30	展覧会を紹介する(短評作成・相互批評)	
	10:30~12:00	ミニ企画展実習(4 企画-集約)	
	13:00~16:00	ミニ企画展実習(5 企画-制作)	
8月28日(火)	9:30~12:00	ミニ企画展実習(6 企画-発表準備)	
	13:00~14:30	ミニ企画展実習(7 発表)	
	15:00~16:00	受講生ディスカッション	

### 受入先

京都教育大学、比治山大学、広島市立大学、広島女学院大学、広島大学(計19人)

### ミニ企画展実習

メインカリキュラムの「ミニ企画展実習」では、数点の所蔵作品によって特別展を企画するという課題にとりくんだ。人文系、芸術系など異なる専攻の学生たちが幅広い視点でアイデアを持ち寄り、各班が個性的な企画や関連イベントにまとめ上げた。教育プログラムとしては、子ども対象企画のほか高齢者対象のものも課題とした。提案された展覧会名、展示作品は次のとおりである。

①	FACE TO FACE (かおとかお) ~表情から感じるもの~ ----- 甲斐荘楠音《横櫛》、鬘光《二重像》、《八幡鬼》神楽面、ジャン(ハンス)・アルプ《目覚め》、南薫造《うしろむき》
②	金~金が彩る美術展~ ----- 《厳島図》、《鞍馬・厳島図》、金城三代一國齋《菊雲鶴文食籠》、平山郁夫《受胎霊夢》、圓鏗勝三《月夜の僧》
③	月の灯(あかり)展-広島を彩る秋の夜- 月明かりの中を一緒に散歩しませんか? ----- 児玉希望《猿猴捉月》、奥田元宋《秋巒真如》、片山牧羊《おぼろ》、圓鏗勝三《月夜の僧》
④	Wanted!!~迷い込んだ動物たち~ ----- サルバドール・ダリ《ヴィーナスの夢》、平山郁夫《受胎霊夢》、吉原英雄《ガラスの向こう側》、児玉希望《猿猴捉月》、《伊万里祐右衛門様式色絵馬》

(統括責任者: 石川 哲子)